

フレイル管理のアジア太平洋診療ガイドラインの監訳

抄録

目的：高齢者のフレイルのスクリーニング、アセスメント、管理のためのアジア太平洋診療ガイドラインを開発すること。

方法：診療ガイドラインの開発には、GRADE (Grading of Recommendations Assessment, Development and Evaluation) アプローチを使用した。このプロセスには、現在の科学的エビデンスの詳細な評価と専門家のパネル会議の解釈が含まれる。診療ガイドラインの推奨度として、3つのカテゴリーに分類された：強い推奨、条件付き推奨、推奨なし。

推奨：強い推奨は、(1)フレイルを診断するために妥当性が検証されたツールを使用する、(2)レジスタンス運動の要素を含んだ身体活動を処方する、(3)不適切/不必要な薬剤を減薬・中止することでポリファーマシーに対処する。条件付きの推奨は、(1)易疲労感の原因に関するスクリーニングを行い、改善可能な原因に対処する、(2)意図しない体重減少を認める人に可逆性のある原因のスクリーニングを行い、食品強化とたんぱく質・エネルギー補給を考慮する、(3)ビタミンD欠乏を認める人にビタミンDを処方する。推奨なしは患者支援と教育計画を提供するである。

結論：これらの推奨は、医療提供者がアジア太平洋地域でフレイル高齢者の管理を行う際に使用することを意図したものである。エビデンスに基づいた診療ガイドラインの定期的な更新を支援するため、地域ガイドライン支援委員会を作ることが提案されている。

表1 フレイル管理の診療ガイドライン

フレイル管理の診療ガイドライン

強い推奨

1. 妥当性が検証されたツールでフレイルを診断することが強く推奨される。
2. フレイル高齢者にはレジスタンス運動の要素を含む漸進的で個別的な身体活動プログラムを適用することが強く推奨される。
3. ポリファーマシーに対して不適切/不必要な薬物を減薬するか中止することでポリファーマシーに対処することが強く推奨される。

条件付きの推奨

4. フレイル高齢者には易疲労感の原因をスクリーニングすることが条件付きで推奨される。
5. 意図しない体重減少を示すフレイル高齢者には、可逆性のある原因をスクリーニングして、食品強化/たんぱく質エネルギー補給が考慮することを条件付きで推奨される。
6. ビタミンDが欠乏している人にはビタミンDを処方することが条件付きで推奨される。

推奨なし

7. フレイル高齢者のための個別的な支援と教育計画の提供について、推奨なしとする。